

ごあいさつ

地球温暖化は、人類共通の課題として世界が一つになって取り組まなければならない問題です。

今後、温暖化を回避するためには、世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに半減する必要があります。

そのためには、温室効果ガスの排出を大幅に削減しながらも生活の豊かさを実感できる低炭素社会への転換が不可欠であり、本事業に参加した皆様をはじめ多くの方々の参加を得て、ライフスタイルやワークスタイル、都市や交通のあり方など多様な面から社会のあり方を変えていく必要があります。

2日間にわたった本大会でも、各都道府県の代表の皆様から、自然エネルギーの利活用や地産地消、公共交通の利用の活性化など様々な取組の発表がありましたが、このような地域の特性を活かした取組が、各地域に留まらず広く全国に情報発信され、取組の裾野が広がっていくことが低炭素社会の礎になると思っております。

環境省としても皆様の取組を国内外に広げ、日本がリーダーシップを発揮し、究極の目的である温暖化防止に向けて取り組んでいきたいと考えております。

ストップ温暖化「一村一品」大作戦は、まさに始まったばかりです。2008年度以降、本事業をさらに大きく展開していき、皆様と一緒に、地域の温暖化対策をより一層推進していきたいと考えておりますので、今後とも宜しく申し上げます。

環境大臣

蔭 下 一 郎

